

総合治療病棟

診療科

総合内科・総合診療科、消化器外科、移植外科、がん化学療法科、麻酔科

病床数

31床

看護師数

看護師長1名、副看護師長2名、看護師18名

主な疾患

【総合内科・総合診療科】不明熱など原因不明な疾患等
【消化器外科】大腸がん・胃がん・肝臓がん・膵臓がん等
【移植外科】肝不全、腎不全、I型糖尿病等
【がん化学療法科】脳腫瘍、肺がん等
【麻酔科】手掌多汗症、三叉神経痛等

治療・検査

【総合内科・総合診療科】確定診断のため各種の検査を行い投薬治療などにつなげます。
【消化器外科】消化器がんに対して外科的治療・化学療法・放射線療法などの集学的治療を行います。
【移植外科】生体間移植や臓器提供を受ける脳死移植の検査や外科的治療などを行います。
【がん化学療法科】疾患に合わせた様々な種類の化学療法や終末期医療を行います。
【麻酔科】投薬治療や外科的治療を行います。

手術前後の急性期看護を主として行っています。

ストーマ造設患者の手技自立に向けた支援や、ドレーン管理指導を行います。

移植外科では医師、移植コーディネーター、栄養部門、リハビリ部門など多職種で協力し患者の拒絶反応の兆候の観察・リハビリ・内服指導等を行い、自宅退院を目指して生活全般の支援を行います。

痛みや熱、終末期を迎えるなど患者のさまざまな苦痛に対して緩和や精神的な援助を行います。

様々な診療科があり、幅広い疾患の学習と多職種連携を進めチーム一丸となって看護を行います。

看護の特徴

